



日時： 令和6年6月26日（水） 15：30～

場所： 6棟3階 福祉実習室

## 1 開会

（中川副校長）

本日は暑い中、お忙しい中、本校にご来校いただきましてありがとうございます。

本年度から学校運営協議会は委員12名となっております。本日は8名の方の出席をいただいております。過半数を超えていますのでこれより開会をさせていただきたいと存じます。どうぞ宜しくお願い致します。

本校の校長岩崎よりご挨拶をさせていただきます。

## 2 校長あいさつ

（岩崎校長）

本日は大変お忙しい中、学校運営協議会にお越しいただきましてありがとうございます。私もこの4月で、4年目を迎えることができました。

本校はご承知の通り農業と生活科の併置である、専門高校として専門教育を行っております。

本校では6月28日（金）の体育祭に向け、本日から体育祭の準備を行っております。28日は雨の予報の為、1日前倒しして27日と28日、それぞれ午前中に実施することと変更し、今取り組んでいるところです。

吉田島高校の委員の皆様多くは、昨年度から学校協議委員会にご参加いただいておりますのでご承知の事と思いますが、8月1日と2日に、全国高等学校家庭クラブ研究発表大会が神奈川県で開催する事になっております。その事務局を本校が務めており、県内の家庭クラブに加盟している学校と協力しながら現在準備を進め、いよいよ大会開催の1か月前と大詰めを迎えております。そのような中で生徒達が日頃の専門教育の成果を充分発揮できるように様々な準備を進めているところでございます。

今年の4月からの教育活動の中で、開成町で行われたあじさい祭りに、本校の環境緑地科の生徒が、開成町で開発した「開成ブルー」というあじさいを挿し木から育てて来場者の方々に1鉢500円で販売しました。30分で完売し、大盛況であったと聞いております。その他にも、昨年からの取組の継続ということで、開成弥一芋を使った弥一芋コロケの販売をしました。こちらも非常に大盛況だったようです。地元の皆様との関わりを持ちながら、吉田島高校の農業と家庭科の専門教育が進んでおり、我が高校としても非常にありがたく、引き続き地元の皆様方のお力を借りながら、今後も教育活動を進めていきたいと思っております。

本日は、後ほど副校長からも学校運営協議委員会、いわゆるコミュニティースクールの概要について説明がありますが、皆様方のご意見をしっかりと学校が受け止め、教育活動にしっかりと繋げていくことがこのコミュニティースクールの制度です。しっかりと皆様方からのご意見いただき、様々な視点で厳しいご意見もお寄せいただいて、学校教育に繋げていきたいと思っておりますので、本日短い時間ではございますが、宜しくお願い致します。

（中川副校長）

有難うございます。

### 3 委員の紹介及び委嘱

\*名簿に沿って紹介とともに委嘱状を渡す。

### 4 事務局紹介

\*自己紹介にて紹介。

(中川副校長)

昨年末にグループの改編がありまして、企画情報グループと専門教育広報グループが1つのグループになり、総括が2人で担当しておりますので報告させていただきます。

それでは続きまして本日の資料の確認をさせていただきたいと思います。

\*学校運営協議会における配付資料

- ・学校要覧
- ・学校案内
- ・神奈川県立学校コミュニティースクール

(中川副校長)

それでは、まず学校運営協議会の設置にかかる説明をさせていただきたいと思います。

学校運営協議会資料4ページ目から8ページまでご覧ください。

規則が9ページから11ページまでとなります。

詳細は後程ご確認ください。

改正事項をお伝えさせていただきます。

令和6年2月29日に高校教育課より要項と手引の改正がございました。

「主な事項としては学校運営協議会における学校評価部会の役割の充実、その中でも学校運営協議会の機能評価を図る目的として現行の学校評価部会に第三者評価の機能を合わせることとし、その根拠や運営について記載した」とのことです。

学校関係者評価を学校運営に参画する視点、第三者評価を第三者の視点として整理し、今後はこの2つの視点で学校を評価するというようになっております。

本校も令和4年と令和5年と2年間にわたって、相模女子大学とお茶の水女子大学の教授の2名にご来校いただきまして、第三者評価を行いました。

様々な視点から、特に生活指導面、教科指導の面などの指導をいただいたところです。今後は、この第三者評価のシステムがなくなり、コミュニティースクールの中にそれを盛り込んでいくというような形に変わりました。第三者評価の視点による評価は、学校運営協議会委員の有識者2名が年間を通してこの評価を行うということになっております。

今年度新たに2名の大学の教授の先生方を委員としてお招きし、第三者評価の視点から学校評価をしていただくという形でお願い致します。

冊子の5ページの下第10条に、協議会は次の各項に掲げる部会を置くと書いてあります。

6ページ(1)では先程お話させていただきました学校評価部会ということで、目標や学校のシステムなどの評価について考える会となります。学校評価部会の中で上から8行目の3に「学校評価部会は各当該学校の運営協議会委員で第三者の視点で評価を行う有識者2名の他

会長が指名する委員や当該学校の教職員以外の者で当該学校と関係がある者をもって構成する」ものとし、人数を5名から8名で構成するとなっております。通常は委員の数は10名と決まっているのですが、必要があれば10名を超えても構わないということで、本校では12名で運営させていただくという運びとなっております。ご承知おきいただければと思います。

以上が昨年からの改正事項の報告です。  
補足は後程行いたいと思います。

小さい冊子についても、コミュニティースクールについて簡単に載っておりますので後程目を通していただければと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

本日の学校運営協議会について簡単に説明させていただきましたが、何かご不明な点はございますでしょうか。

\*特になし。

## 5 会長選出

(中川副校長)

それでは本年度の学校運営協議会を行うに当たって、会長を選出させていただきたいと思えます。

校長より提案がございます。

(岩崎校長)

本年度も昨年に引き続き鳥海久本様をお願いしたいと思います。

(中川副校長)

御承認いただけるようでしたら拍手の方を宜しくお願いします。

\*拍手多数。

(岩崎校長)

どうもありがとうございました。

(中川副校長)

では鳥海様、宜しくお願い致します。

(中川副校長)

まず本校校長より本校の今年度のグランドデザイン及び学校教育計画についてご説明申し上げます。学校要覧の4ページをご覧ください。

## 6 協議

- (1) グランドデザイン〔学校要覧 P4〕 …… 岩崎校長
- (2) 学校教育計画〔学校要覧 P5、6〕 …… 岩崎校長

(岩崎校長)

それでは私の方から本校のグランドデザイン、1枚にまとめたものが本校の教育目標、設置学科、目指す学校像、それから育むべき生徒像、そしてスクールミッション、スクールポリ

シーを掲載させていただいております。

スクールミッションにつきましては、教育委員会が本校に対してどのような教育活動を行うかを示されたもので、それを踏まえてスクールポリシーとして、グラデュエーションポリシー、カリキュラムポリシー、そしてアドミッションポリシーの3つのポリシーにつきまして、本校でスクールミッションに合わせて、作らせていただいております。

その中で、特に育むべき生徒像として、専門知識・技術を確実に習得し、将来の地域農林業や生活産業担う人材の育成、進学を視野に置き共通科目の履修を充実し、農林業や生活産業に関わる将来のスペシャリスト、指導者、技術者の養成です。併せて、農林業や生活産業が果たす役割を理解し、学びを社会の中に活かし、これらの産業をサポートする人間性豊かな産業人の育成という育むべき生徒像を意識しながらスクールポリシーについて作成しました。このスクールポリシーに基づきまして、それぞれグループごとに、いわゆる教育目標を定め、学校としての教育活動を行っているというところです。

吉田島高校の教育の目指すべきものをグランドデザイン1枚に凝縮させていただいております。1枚に収めるということで細かく見にくい図にはなっていますが、本校の教育が目指すものを理解いただけると思いますので、宜しくお願い致します。

また、グランドデザインの右側の上には、持続可能な社会の実現いわゆるSDGsも意識してそれぞれの学科事に17の科目標のどの部分に対応しているのかということを確認に示させていただいております。学校案内にも学科ごとの上の欄にSDGsのそれぞれの項目が掲載されておりますので併せて、グランドデザインの中に盛り込ませていただきました。

続きまして、学校要覧の2番目5ページ、6ページ、それから7ページ、8ページに学校教育計画がございます。こちらは、学校のミッションと学校教育目標、計画作成時点での課題について、これからの4年間の目標を設置させていただいております。

それぞれグループごとに4年間の目標を立てさせていただいておりますが、学校には様々な課題があり、それぞれの課題ごとに目標を定めております。吉田島高校として大きな課題の1つは、授業を通じた教育活動の部分が大きく挙げられるかと思えます。入学してくる生徒については学力の差があります。義務教育を終了し、入学者選抜を経て入学するわけですが、生徒の学力差が授業の中でどのように影響するか、特に基礎的基本的な学力の定着について様々な取組をしながら、現在取り組んでおります。その1つに、教えて考えさせる授業の実践があります。一人ひとりにまずしっかりと基礎基本を学ばせながら、その上で考えさせる力を身に付ける必要があることがまず大きな課題と挙げられております。

次に、生活指導の部分では、やはり近年SNSを使ったコミュニケーションによるトラブルと、SNSからの対人関係のトラブルというものが多く、本校でも見受けられます。毎年起こっている問題であり、その中で生徒にコミュニケーションをつけるにはどうしたら良いのか、その裏には規律規範をしっかりと身に付けさせることも大きな課題として挙げられております。

進路指導におきましても、何の為に高校に入って、何の為に学んで、何の為に卒業していくかという、いわゆるキャリア教育の視点に立った進路指導実践が求められています。なんとなく高校に入り、なんとなく勉強して卒業していくというのでは高校卒業後の進路を見据えることかできない。ですので、普段の授業活動の中から将来の進路を見据えたキャリア教育の推進というものが大きな課題となるところでございます。

それから地域との共同ですが、学習指導要領が改定されて文部科学省も社会に開かれた教育課程を推進するよう示されています。つまり、実社会と学校が解離するということがないよう、産業教育の現場で行われていることを学校の中でもしっかりと教育活動に結び付け、地域や様々な業界、または大学、短大、専門学校等々連携しながら教育活動を行っております。

学校管理、学校運営については、難しい働き方改革をどう進めていくかということが校長として1番悩んでいるところです。職員に「早く帰りなさい」という指導だけでは働き方改革に

はなりません。学校に居る時間を短くすれば働き方改革なのかというのではなく、業務をしっかりと精査しながら、削るものは削り、充実させるものは充実させながらしっかりと業務の見直しをし、それから効率化を考えていく必要があるのかなというところです。職員の働き方にはそれぞれ個人差があります。その中でどのように働き方改革を推進していったら良いかというところも学校として考えていかなければいけない。併せて、本校だけではなく全国的な課題として教員不足というものがあります。これは学校の先生になりたくないという大学生、若者が増えてきている。教育学部系の大学に行っても教員にはならない。将来教員になろうと思ったけど、実際に学校を見て教育実習に行き、教育学を勉強する中で学校の実態を知れば知るほど先生になりたくない。ここに大きな課題があるところでございます。本校も家庭科がございしますが、家庭科の教員の不足が本校の課題です。また、家庭科の教員を配置できていない学校があり、家庭科の教員不足も顕著でございますが、農業も今後全国で新たに免許状を取る農業系の大学生が400人しかいません。全国で400人と言いますと、都道府県で割ると10人も切ってしまいます。ただ、教員免許を取った人全員が教員になるとは限りません。やはり、教員免許を取る学生も減っている中で、やはりこれは全国的な課題です。そのようなことも働き方改革に直結し、教員不足が職員の負担増加にも繋がっています。

様々な視点ということで5つのグループごとに目標を立てさせていただき、7ページ、8ページにつきましては、更に細かな今年度の目標を、グループの中で考えさせていただきました。8ページにつきましては、去年の1年間の学校評価報告ということで、こちらは3月の学校運営協議会でもお話をさせていただきましたが、1年間の取組データ、そして4年間の総括ということを書かせていただきました。

以上で学校要覧に書かれている、学校評価、グランドデザインについての説明について終わらせていただきたいと思います。

(中川副校長)

協議の前に校長の方からグランドデザイン等説明させていただきました。

これから協議に移らせていただきますので、議長を鳥海様をお願いしたいと思いますので宜しくお願い致します。

(鳥海議長)

議長に選出されました、鳥海と申します。私は、本校を昭和43年に卒業しました。

議長は不慣れなため、皆様のご協力をもって進めていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

それでは、協議に入らせていただきます。

まず、岩崎校長より説明ありました学校要覧 P4、グランドデザイン P5、学校教育計画等についての説明に質問があれば、挙手でお願い致します。

無ければ、次に学校要覧 P7、令和7年度学校評価目標について協議を進めていきます。

(3) 令和6年度 学校目標〔学校要覧 P7〕

(鳥海議長)

まず「1 教育課程、学習指導」から各グループリーダーより説明をお願い致します。

- ① 教育課程、学習指導 …… 阿出川 学事 GL  
露木 広報情報 GL  
高梨 生徒活動 GL

(阿出川 学事 GL)

まず、7ページをご覧ください。

令和6年度学校評価報告視点1について説明させていただきます。

令和6年度、4年間の目標を新たに設定しました。

教育課程・学習指導として

- ① 基礎・基本の定着と、生涯にわたり学ぶ姿勢の礎となる学び方の獲得を図り、発展的探究的な専門学科の学びを通じて自立した学習者を育てるという目標を設定しました。やはり、基本は大切であるけれども学力差が大きい。それを授業の中で基礎・基本定着を図りながら、生涯にわたり学ぶ姿勢を育てていく。更には、発展的探究的な専門学科の学びを深められる、という相反するような内容ではありますが、両方とも大事だということ、このような形で行きたいと思います。

1年間の目標としましては①のところに2つ。

最初のICTに関しては、後程、露木の方から説明を致します。

2つ目の「学びの場の学習環境を整え、教育活動の質を高める」というところです。具体的な方策として、多様性のある生徒を考慮した妨害刺激等の整理を行い、生徒が落ち着いて自ら学習に向かう姿勢を確立していくということで、やはり学習環境を整えることは大事です。

まずは、自分の周りの整理整頓、机、教室の自分の物の整理。本校では、習熟度別授業で違うクラスの生徒の机を使うこともありますので、片付いてないとそれが気になって授業に集中できないなど、実験実習の授業もございますので、そういう設備の必要な物を揃え教えていくということも含めての学習環境です。

多様性のある生徒、いろいろな生徒が居りますので、よく言われるのは、黒板には掲示物を貼らないというようなことが言われる訳ですが、やはり授業中に気になって授業に向かえないということが無いようにですとか、様々な視点で学習環境を整える方策を考えていくつもりです。多くの教室は整っておりますが、生徒自身、身の回りの整理整頓がいまひとつということがありますので、その辺りを徐々に生徒が自ら整えていけるようにしていきたいと思います。

(露木 広報情報GL)

同じく視点①のところ、私のグループでは①の上にあるICTの活用が考えられます。

高校では1人1台パソコンが導入され、今年で3年目を迎えました。今年度から1年次から3年次まで全員が家庭で購入されたChromebookを学校に持参し、授業等で活用しています。どうしても購入が難しいというご家庭には学校から貸出をしています。コンピューター等を使いながら理解を深めることができるICT機器の活用と、現在本校で取り組んでいる「教えて考えさせる授業」(OKJ)を進めるために、年間行事の中に研究会を位置づけて毎月実施し、生徒の理解が深まるよう努めています。

(高梨 生徒活動GL)

明後日の体育祭に向けて、本日午後から準備を行っております。体育祭や11月に実施の文化祭について、実行委員会を開き、時間をかけて生徒と連携を取りながら進めております。

今年の体育祭は、天気があまり良くないということで、木曜日と金曜日の2日間に分けて行いますので、委員の先生方もお時間ありましたら是非観に来ていただきたいと思います。

(鳥海議長)

各グループから説明ありました。只今の説明にご質問、ご意見ありましたらお願いします。特に無いようですので、続いて「2生徒指導・支援」について、生徒指導グループの説明をお願い致します。

② 生徒指導・支援 …… 小澤 生活指導・支援GL

(小澤 生活指導・支援 GL)

生徒に規律ある行動を、ということで本校の定めている規則等が生徒と保護者にしっかりと伝わるように整理をして、生徒にも保護者にもわかりやすいような内容にすることで改訂を進めています。今年度につきましては、防寒着について生徒と話し合いをしながら進めていこうかと思っています。生徒に学校の規律・規則がなぜあるのか、どのように守っていかなければいけないのか、ということを考えられるようにしていきたいと考えております。また、先ほど校長からもありましたが、コロナの影響もあるのか、本校の生徒はコミュニケーションスキルが低く、コミュニケーションが取れない生徒が多数います。自己肯定感、コミュニケーションスキルが身につくような生徒の実体験にあった講演会の選定をするよう心がけています。

教育相談については色々な生徒がいます。学習や家庭環境のサポートが必要な生徒の支援も多岐にわたっておりますが、本校の教育相談コーディネーターが対応したり、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーが来ておりますので、そのような専門の方と相談をしたりしながら支援を進めております。今年度については生徒の問題行動が少ないこともあり、教育相談体制に時間が取れているので週に1回、教育相談担当者との打ち合わせをしながら生徒の困り感を把握して、必要な教育相談を受けられるような体制ができております。神奈川県では今年度もサポートドッグを実施しているのですが、支援が必要な生徒については教員にも情報共有をして、生徒に対して相談に行くように促すような声掛けをしながらサポートを進めています。

(鳥海議長)

ご説明ありがとうございました。只今の説明についてご質問・ご意見ありましたら宜しくお願ひします。

無いようですので、次に進路指導・支援について、キャリアグループより説明をお願い致します。

③ 進路指導・支援 …… 片山 キャリア GL

(片山 キャリア GL)

今年度からの目標として、生徒が将来働くということを中心に書かせてもらっています。実際に担任との取組としては、ガイダンスなどを利用して、自分の進路を考えていくということを中心に取り組んでいこうかと思っています。その中で1年生についてはどのような仕事があるのか、働くことがどういうことなのか。2年生は実際の進路を考えていき、自分がやりたい仕事に向けてどのような進路があるのかを考えるようなガイダンスを中心に行い、3年生で実際に進路を決定するように取り組んでいます。今年度力を入れていこうかと思っているのは、志望理由書を書くための指導です。3年生の進路が決まるのが最大の結果であるかと思っておりますが、その中で毎年厳しいのが志望理由書を書くことです。大学に進学をする、就職をする、どちらについても志望動機を考えるのが嫌だ、まとめるのができない、漢字が書けない。それから色々な人と情報交換をしながら仲良くしていこうかと思ってもうまく話を進めることができないなどといった生徒が多数いますので、そういう者も先ほど小澤の方からもありましたが、コミュニケーションの講座とかの話を含めながら対応していき、進路が決まるようにしていきたいと考えております。学校でやるときは総力をあげてやらないとできない、きかない部分もありますので、生徒の方にはしっかり勉強をしましょうというような話などを今後も指導していきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

(鳥海議長)

ご説明ありがとうございました。只今の説明についてのご意見・ご質問はありますか。

無ければ続いて「4 地域との協同」について広報情報グループより説明をお願い致します。

④ 地域等との協働 …… 小野 広報情報 GSL

(小野 広報情報 GSL)

地域との協同につきましては4年間の目標、各種機関との連携や情報発信等により地域等における本校の理解促進をはかり、学校教育の充実をはかるという形で設定をさせていただいております。今年1年につきましてはその中でも情報発信の部分に重点をおいて目標を設定させていただいており、特に中学生に対する情報発信に力をいれていきたいと考えております。

令和6年度入学生(1年生)に対して入学当初にアンケートをとった結果、「本校について詳しく知るきっかけとなったもの」として、最も多く答えていたのが本校の学校説明会でした。続いて多かったのが本校のホームページで、約4割の生徒が本校を知るきっかけとしてあげていました。他にも、小田原市で行っている合同の説明会が約3割でした。また、これまで学力検査と面接検査の2つを神奈川県立のすべての高校で実施していましたが、昨年度から入試方法が大きく変わり、面接については各校任意での実施になったこともあり、多くの学校で面接を廃止した中、本校は例年どおり実施し、前述のアンケートの選択肢にもその内容を含めてみたところ、およそ4分の1の生徒が入試の面接が学校選択のきっかけとなったと回答しました。ホームページについては学校説明会の次に関心があるものなので今後も力を入れていきます。また、それ以外の情報発信源としての方法を考えていきたいと思えます。なお、今年度配布した学校案内についても、本校に関する多くの情報を知っていただきたいということで、各科のページを1ページずつから2ページずつに増やすとともに、学校の行事の様子や校内のマップなど、授業だけではなく普段の学校の様子や行事などを約200枚の写真を使い、視覚的にわかるように改良を加えました。お時間あるときにお目通しいただいて、ご意見等あれば参考にさせていただきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

(鳥海議長)

ご説明ありがとうございました。只今の説明についてのご質問・ご意見はございますか。

無いようなので、最後に「5 学校管理・学校運営」について管理グループよりご説明をお願いします。

⑤ 学校管理、学校運営 …… 菊池 管理 GL

(菊池 管理 GL)

管理グループとしては、4年間の目標の①安心安全な学校生活のため教育環境を整備するところでは、まず開成町防災担当者との連携を図ること。特に、防災活動に対しては地域との連携が必要ですので、毎年防災担当者の方と連携を取りながらいろいろと計画を立てております。

その他に、校内の危険箇所を把握し、安心・安全な教育環境を整えるということで、この後、8月いっぱいまでかけて、各教員対象に校内の危険箇所のアンケートを取り、それを元に整備計画を立てていく予定です。

(鳥海議長)

ご説明ありがとうございました。只今の説明についてのご質問・ご意見はございますか。

(中川副校長)

4年間の目標として、職員の働き方改革の推進をするとともに、教職員に教育者としての自覚と責任をもって行動できるように不祥事防止に努めるという2点に焦点を当てて、目標を作成させていただきました。

1年間の目標としては、業務のスリム化を図る中で、衛生委員会(職員が管理職とともに学校の職場改善を行っていく委員会)で産業医の先生も含めながら、どのようなことが長時間労働につながっているのかを職員の中から吸い上げていき、業務改善をどのように進めていったら良いのかということを考えていきたいと思っております。

また、不祥事防止のことにつきましては、職員一人ひとりが自分事として考えていくことを



目標に据え、今一度自分を振り返りながら自分事として捉えていくような体制を作る必要があると考えました。そこで、不祥事防止研修について、昨年までは管理職が職員会議の時に行っていましたが、今年度は職員の輪番とし、一人ひとりが与えられた不祥事に絡む内容について理解を深めてもらいながら研修の講師を務めるような形態に変更しました。

(鳥海議長)

ただ今の報告についてのご質問・ご意見はございますか。

無いようでしたら、最後に全体を通してご質問・ご意見ありましたらお願いします。

次に不祥事ゼロプログラムについて中川副校長より説明をお願いします。

(4) 不祥事ゼロプログラム〔本冊子 P12〕 …… 中川副校長

(中川副校長)

冊子の 12 ページから 15 ページにわたって、不祥事ゼロプログラムについて記載させていただいております。

昨年とほぼ変わらない内容になっておりますが、特に神奈川県の中でもわいせつ事案が大きく取り上げられているところがございます。そのようなことも含めまして、先程も教育計画の中でも申し上げましたとおり、目標及び行動計画について少し変更させていただきました。

毎月、次の(1)～(14)を主たる内容として、職員会議における不祥事防止研修及び校内研修の講師を全職員で担当するという形で実施してみようということになっております。これは、職員が自分事として不祥事をしっかりと捉えられるよう、一人ひとりが自分に与えられたところをしっかりと捉えて、不祥事防止を深めていくというようなことができれば良いという想いも込めて改善し、今年度4月から始めております。

また、生徒へのわいせつ行為の防止については個人の私的なメール等の利用を禁止し、Chromebook 等を使い、複数の職員が入る形で生徒との連絡をとるように指導しています。生徒指導は複数で行い、個室での一対一での個別指導はしないよう、そして密室を作らないようにするとともに、教科準備室等の死角もなくなるように気を付けています。

(9) 財務事務調査等の適正執行ということで先日、県の財務課の監査が入りました。本校の公費と私費ともに大きなご指摘はなかったということを報告させていただきます。会計については4月に全職員にマニュアルを配付し、特に会計担当者会議を開いて会計基準を説明しました。

この不祥事ゼロプログラムについては、検証を年に3回行っています。9月末までに状況を確認して12月まで補完し、何かありましたら補完措置を講ずる。第2回の検証につきましては12月末までに状況を確認して、2月中に補完する。最終検証としては3月上旬までに確認し、目標について検証を深め、次年度の不祥事ゼロプログラムを設定していきます。ホームページにも、不祥事ゼロプログラムを掲載します。

(鳥海議長)

ご説明ありがとうございました。只今の説明にご質問・ご意見はありますか。

無いようでしたら、以上を持ちまして今日の協議を終わらせていただきます。ご協力ありがとうございました。

(中川副校長)

鳥海議長ありがとうございました。

より良い学校運営を今後ともして参りたいと思いますので、何かお気づきの点がございましたらその都度、学校の方にご意見等をお寄せいただきたいと思います。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

本日の協議会の記録については後日、皆様にご送付させていただきます。  
また、学校のホームページにも掲載させていただきますのでご承知おきください。

それでは最後に、学校運営協議会の日程を今一度確認させていただきたいと思います。

\* 日程を確認。

閉会にあたり、校長よりご挨拶を申し上げます。

## 7 閉会

(岩崎校長)

本日はご協力いただきましてありがとうございます。

今日は特に学校側から学校教育目標、それから学校教育計画等について説明させていただきました。今後1年間教育を進めていく中で、どうか委員の皆様方から様々な視点で色々な場面でご意見をいただきたいと思います。昨年は第三者評価ということで2年間、大学の先生お二人に色々な部分でヒアリングをする中で、学校の流れを把握しながら助言をいただきました。私達も普段気が付かないことを、外部の方からの視点で助言をいただき、生徒も少しずつ変わりました。何回か学校に来ていただくことで、「生徒の変化が目に見えて変わった」と評価をいただくことができました。今年度、あと2回の協議会がありますので、文化祭等も含めて、是非学校の方にお越しいただきながら、生徒の様子も見ていただいて、本校の課題についてご指摘いただければありがたいと思います。

どうぞ1年間、学校運営協議会の委員という皆様の立場で、厳しい目で学校を見ていただけたらありがたいと思います。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

(中川副校長)

それでは、以上で令和6年度第1回の学校運営協議会を閉会させていただきます。

本日はご多忙の中、ご出席いただきましてありがとうございます。